



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

質問方式  
一問一答

道路ネットワーク網  
の整備について

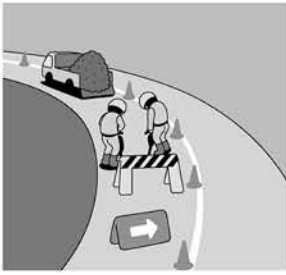
**Q** 全国道路利用者会議定時総会に、市長が参加をして、佐野市として取り組まなければならない課題があったのか、内容を聞きたい。

**A** 市長

全国道路利用者会議は、昭和24年に終戦の荒廃した国土の中で道路整備を積極的に推進し、国民生活の安定向上を記するという目的のもと設立されました。本年度の総会は、5月18日に全国各自治体の首長が参加しています。その課題は、全国各地とも高規格、また幹線道路から住民に最も密着した道路網の整備の推進が、さらに必要であることが確認をされました。本市も都市づくりのネットワークとしてはまだまだ脆弱であることは否めません。活力ある経済に支えられたゆとりある社会を実現するためには、地域連携を強化して道路網の整備を重点的かつ効果的に進めるよう努めてまいります。

その他の質問

☆佐野市住宅マスタープランについて



金子 保利 議員

質問方式  
一問一答

行政と町会のあり方  
について

**Q** 佐野市が町会長へ業務委託する方式だと、町会長への負担が大きく、町会長本来の職務に支障が出ているのではないかと危惧している。現在の方式の問題点や、行政が町会と直接業務委託契約を結ぶ方式などの新しい方式の研究などは行ってきたのか。

**A** 行政経営部長

多様化する住民のニーズに応え、地域の実情に合った施策を展開するため、町会長さんの果たす役割はますます大きくなっています。今後、町会長連合会地域づくり検討部会で検討していただくように提案してまいります。

また、本市では、地域づくり町内検討委員会を設置し、町会の活動の充実を図る具体的な方策等を検討しています。町会の自主性や自立性を十分に尊重した上で、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するために、地域担当職員の職務を明確に規定した内容となっております。今後、地域づくり町内検討委員会で課題について検討してまいります。



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

質問方式  
一問一答

「億総活躍社会に向けた  
「労働力女性比率」の向上  
に対する提言

**Q** 子育て支援の充実が日本の現状を救うことに対しての見解と、「こども街宣言」をした佐野市として独自の子育て支援策について、再配分やさらなる財政の追加を検討するべきと考えるが、いかがか。

**A** こども福祉部長

子育て支援の拡充は重要な施策であり、国・地方・地域を挙げて取り組むべき課題であると考えています。

**A** 総合政策部長

保育サービスの拡充が日本の経済成長をもたらすという側面もあると考えています。

財政を含めた市全体の今後の取り組みですが、先進自治体の取り組み方法や経済活性化につながるという観点も考慮し、「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標でもある「結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえる」の実現に向けた取り組みを推進するとともに、現在最終年度を迎えております後期基本計画での実績を検証し、子育て支援策の充実に努めてまいります。と考えています。

